

2023年度 日本工学院専門学校											
I Tスペシャリスト科											
キャリアデザイン6											
対象	3 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	60	単位	4
担当教員	降矢 理人			実務経験	有	職種	クリニカルエンジニア				
担当教員紹介											
10年間医療機関で臨床工学技士として血液浄化療法や呼吸療法を中心に勤務。臨床業務の傍ら、病院経営企画や患者管理システムの構築、採用などに従事。大学院では経営学をベースにマネジメント論や組織行動論を研究し、職場の業務環境改善に取り組んでいる。日本キャリア教育学会会員。											
授業概要											
前期のキャリアデザイン5で自分の将来像をおぼろげながらも描け他だろうか。目前に迫る就職活動に向けての本格的な準備を進める必要がある。より明確な自分の将来の進路を切り開くため準備を継続していく。前期キャリアデザイン5から継続する一般常識等の対策に作文などの新たな内容を加えて授業を展開していく。											
到達目標											
自己分析、業界研究、一般常識の学習などを通して自分の現状を把握できるようになる。自分の現状から何が不足しているのかを認識し、不足しているものを自発的に学習できるようになる。一般常識、適性の学習を更に進めてレベルアップする。前期の学習を基に業界・企業分析を更に詳細に行い、働いてみたいと思える企業を幾つか見つけられる。											
授業方法											
就活ドリルなどを利用して一般常識や適性に関わる問題を毎時間ごとに解き、未取得な部分を確認。キャリアサポートブックを使い、自分の進路を考える。就職活動の流れを把握する。業界地図やインターネットの情報を利用し、業界、日本や世界の経済状況を確認する。内容によってかくじののーとPCを使うことがある。その際には指示する。											
成績評価方法											
試験・課題 50% 定期試験期間中に試験を実施し、授業内容全般の理解度を評価する 小テスト 40% 一般常識等の試験を授業時間内でテストを実施し、理解度を評価する レポート 0% 成果発表 0% 平常点 10% 授業参加度、授業態度を評価する											
履修上の注意											
授業に必要なスマートホン、ペットボトルはカバンにしまうこと。私語を慎み、積極的に実習に参加すること。出席は授業時間開始時にのみ取る。遅刻は授業開始10分までを認め、それ以降は欠席となる。授業時間の3/4以上出席しない者は定期試験を受験できない。											
教科書教材											
キャリアサポートブック。就活ドリル。関連する資料等についてはそれぞれの実習内容で紹介する。□											
回数	授業計画										
第1回	一般常識対策(1) 就職試験に出題される内容の問題を解き、不得意な内容を確認し、それを学習する										
第2回	一般常識対策(2) 就職試験に出題される内容の問題を解き、不得意な内容を確認し、それを学習する										
第3回	一般常識対策(3) 就職試験に出題される内容の問題を解き、不得意な内容を確認し、それを学習する										
第4回	一般常識対策(4) 適性試験に出題される内容の問題を解き、不得意な内容を確認し、それを学習する										
第5回	一般常識対策(5) 適性試験に出題される内容の問題を解き、不得意な内容を確認し、それを学習する										

2023年度 日本工学院専門学校	
I T スペシャリスト科	
キャリアデザイン 6	
第6回	適性試験対策(1) 適性試験に出題される内容の問題を解き、不得意な内容を確認し、それを学習する
第7回	適性試験対策(2) 適性試験に出題される内容の問題を解き、不得意な内容を確認し、それを学習する
第8回	適性試験対策(3) 適性試験に出題される内容の問題を解き、不得意な内容を確認し、それを学習する
第9回	適性試験対策(4) 適性試験に出題される内容の問題を解き、不得意な内容を確認し、それを学習する
第10回	適性試験対策(5) 適性試験に出題される内容の問題を解き、不得意な内容を確認し、それを学習する
第11回	履歴書作成(1) 前期に作成した履歴書を見直し、就職活動で利用できるレベルに仕上げる
第12回	履歴書作成(2) 前期に作成した履歴書を見直し、就職活動で利用できるレベルに仕上げる
第13回	業界・企業分析(1) 企業サイトやJ-Naviを利用し、求人企業の内容を調べられる
第14回	業界・企業分析(2) 企業サイトやJ-Naviを利用し、求人企業の内容を調べられる
第15回	業界・企業分析(3) 企業サイトやJ-Naviを利用し、求人企業の内容を調べられる